

2016年9月16日(金)

日本金融通信社(ニッキン)掲載

ウェブ改善を支援  
顧客情報入力が容易

レムトス

コンピューター辞書  
関連製品の専門メーカーのレムトスは9月1日、辞書データを活用して情報入力を支援する「辞書屋のウェブソリューション」の提供を開始した。金融機関ウェブサイトからの会員登録や商品購入で、

顧客情報の入力フォームを改善することで、手続きが完了する前に操作をやめてしまう「離脱率」の低下を図る。

同ソリューションは、入力フォームの改善を簡単に安価にできる。名字と名前の間に空白を入れる位置や、電話番号のハイフン挿入位置の候補表示などの機能を実装。従来、複数のフィールドに分ける必要があった項目を一つで対応できるようにし、利用者の入力負担を軽減して、離脱率低下を実現する。

住所の漢字間違いや記入漏れを自動判別する機能も備え、データの精度を高めることもできる。クラウド型で提供するため、辞書データのメンテナンスは不要だ。初期費用は3万円(税別)。別途、月額利用料と従量課金が発生する。